

目で学修する抗体製剤の作用、取り扱いなどにつなげることができます。まずは生物で免疫学の基礎を理解しましょう(解答3、4 参考正答率54%)

免疫学の頻出範囲である抗体は、構造、生理作用、抗体クラスなど非常に多くの知識が問われています。その多くは記述問題であり、107回のように詳細な図を用いた出題はありませんでした。今後も既出の知識を図や構造に応用して、出題される可能性があるため、既出問題の演習後は青本の図や構造を確認し、応用問題へ対応できるようにすることが重要です。

衛生領域の特徴や出題傾向

衛生の中でも特に「公衆衛生」の重要度が高いです。時代とともに問題視される健康問題も変化しており、近年、話題となっているトピックスが出題されやすい傾向にあります。また、私たちが抱える健康問題、その要因や予防対策に関するスタンダードな内容も多く出題されています。

〈第107回国試 問126〉

職業性疾病と有害要因に関する記述のうち、誤っているのはどれか。1つ選べ。

- 1 精神障害やメンタルヘルス不調は、強い不安やストレスを感じる心理社会的要因により発症する。
- 2 レイノー病は、電離放射線の曝露による物理的要因により発症する。
- 3 けい肺や石綿肺は、粉じんの曝露による化学的要因により発症する。
- 4 細菌感染症やウイルス感染症は、病原体との接触による生物的要因により発症する。
- 5 頸肩腕症候群は、VDT (visual display terminal) 作業による作業態様要因により発症する。

近年は急速なIT化やスマートフォン、タブレットの普及により、情報機器作業の長時間化が進行し、現代の仕事や日常生活に欠かせないVDT作業が与える影響が問題視されています。また、自粛生活やテレワークの導入によるストレスなど、心理社会的要因に対する対策も重要になってきます。このような近年の生活様式・勤務形態の変化によっても起こり得る代表的な職業性疾病とその要因、予防法を理解することが重要です(解答2 参考正答率88%)

衛生は広範囲からの出題であるため、早期からの対策が必要です。医療系の

科目では「治療」をメインとした内容を学修しますが、衛生では「予防」が中心であり、薬剤師にも予防の知識が求められています。既出問題を繰り返し解き、知識を定着させることで、衛生を得点源にしていきましょう!

最後に

今回紹介できなかった基礎科目でも臨床とのつながりは重要視されています。例えば、物理では実践問題(第107回:問201)として、市中肺炎患者がSpO₂(経皮的動脈血酸素飽和度)を測定する際に使用したパルスオキシメーターの原理が問われています。コロナ禍でニュース、新聞などでも話題になることが多くなったSpO₂の測定です。薬剤師にとっても医療現場に必要な知識の出題です。国試に向けて勉強している時に、話題になっている機器や検査について、その原理にも興味を持るといいですね。

また、衛生では必須問題(第107回:問16)で、体格指数の一つであるBMIを算出する式を解答する問題も出題されています。化学では理論問題(第107回:問106)で、プロテアソーム阻害作用を有する抗悪性腫瘍剤のボルテゾミブについて、構造から基礎的な内容を判断する問題も出題されています。生物では実践問題(第107回:問224-225)で、薬剤感受性試験(ディスク法)について問われ、その結果をふまえて最適な抗菌薬を選択する問題も出題されています。実務実習で先輩薬剤師が患者情報を得るために使用していた検査項目や数値の求め方、実務実習で処方されることの多かった医薬品の構造や抗菌薬を選択した理由なども意識して学修するようにしましょう。

LINEから「過去問解説動画」(無料)

薬学ゼミナールの公式LINEアカウントから、今回紹介した第107回国試問題を含め、薬ゼミオンライン教室で無料公開している「過去問解説動画(第107~100回)」が視聴できます。問題の解説も見て、より詳しく勉強したい方は、自分で一度問題を解いて見てから、解説動画も覗いてください。

〈使い方〉

薬ゼミLINEで「107-213」「107 118」のように記入して、送信してください。

薬ゼミLINEURL

<https://liff.line.me/1656872021-gB4GGQbK/d1d91698df194e68a1625e4abb11509b>



Q 薬学部5年生です。今のところ病院が第一志望です。研究マインドもあるので、なるべく大学病院などの大規模な急性期病院で経験を積みたいですが、色々と情報収集しているのですが、実は、一番興味ある病院について「毎年新人が短期間で辞めるほど厳しい先輩方が多く働きにくい」との噂を聞きました。やはり、病院は人間関係が悪いところが多いのでしょうか?

A 研究マインドを持った病院薬剤師になりたいのですね、頑張ってください。いろいろとお調べになっているようですね。病院勤務経験のある大学の先生方や就職課、大学OBの先輩方に情報を求めるのも効果的です。

私も毎年、似た質問を投げかけられます。「〇〇大学病院は新人をいじめる」「××大学病院は研究をしていない」等々、学生間には色々な噂が飛び交っているんだなあと感心しますが、「その噂

薬学生 キャリア相談 Q&A



キャリア・ポジション
代表取締役

西鶴 智香

志望先の病院はいい噂を聞きません

は本当なのか? どの事実に基づいた話なのか? が気になるポイントです。こういった噂は、「新人薬剤師が3カ月で退職したのは、先輩方が丁寧に教えないから」とか、「実習に行った際に、新人がキツク叱られていた」等の話を聞いた人が周りにその話をしたことが発端だったり、その話が段々大袈裟になって広まったり……。そういう事実を私も知っています。

例えば、新人が3カ月で退職したことは事実だとして、退職理由は「先輩が丁寧に指導しないから」という噂のようですが、この退職理由をどう捉えますか? 正職員として採用され、給料を頂いて「専門家・薬剤師」として仕事をする際に、できない理由として「私は新人だから」「先輩が丁寧に指導しないから」と言っていたのでは、社会人は通

用しません。この話だけで、「大学病院は厳しい先輩が多く、新人がすぐに辞めるほど働きにくい」と解釈するのは早合点過ぎませんか? 短期間で辞めた本人の就職活動の仕方や働く心構え、子供っぽい考え方に課題があったように感じます。

また、厳しい先輩方も、「仕事への態度も指導も厳しいと感じるほどプロ意識が高い」と捉えることもできます。人の命に関わる職業であるプロの薬剤師が、患者より新人が傷つかないことを優先して甘い指導をし、事故を起こすわけにはいきませんよね。

志望病院の「先輩方の厳しい指導」について、もう少し詳細に情報収集してみたいかがでしょうか? 「キツイ」だけでなく、ほかの捉え方もできるのではないのでしょうか。



薬局実務実習に行く前に 知っておきたい 法律知識

著者: 白神 誠 A5判/203頁/定価2,200円(本体2,000円+税10%)

「薬学生」「指導薬剤師」に役立つ!

薬学生が実務実習に向けて知っておくべき法規・制度の知識を会話形式でわかりやすく解説。実務の内容と関連する法律を結びつけた学習ができる。

POINT

- 実務に沿った会話形式で解説することで、その場面を思い描きながら学べる。
- 項目ごとに要点をまとめた「Key points」を記載し、知識の整理ができる。



詳細・購入はこちら

薬事日報社 書籍のご注文は、オンラインショップ(<https://yakuji-shop.jp/>)または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。